



## 住宅着工数がリーマンショック時を下回る！

令和 7 年度の全国住宅着工数は 74 万戸とリーマンショック (H20.9) 後の平成 21 年度着工数 78.8 万戸を大きく下回った。(H21 年度以降、消費税 8%、10%、コロナ禍でも 80 万戸以上) ロシアのウクライナ侵攻以降世界的に政情が不安定になり、2 月末のアメリカ・イラン戦争の勃発により、石油危機も始まり、いろいろな資材の値上げが続いている。

住宅に関しても石油由来の材料を使っている住設機器で受注停止を発表するメーカーもあり、今後住宅完成・引き渡しに影響が出る可能性もある。コロナ禍の時、便器の納入が間に合わず、展示棟の便器を仮に取付、それで一応の完成・引き渡しを行い、入荷後に取り換えるという対応をしたところもあったが、今回はどうなるだろう？

木材の価格は、需要が少なく今の所 KD 材が 3 月から 3000 円/m<sup>3</sup>の値上げで、集成材が接着剤の値上げで 5000~10000 円/m<sup>3</sup>の値上げも唱えられている他は、現状維持あるが、今後も重油の値上げや運送費の値上げに伴い、更なる値上げが考えられる。また、保存薬剤の値上げなどで 5 月から 3000 円/m<sup>3</sup>の値上げが通告されてきた。塗料の値上げに伴い塗装費の値上げや断熱材の不足も言われている。

10 年ほど前は 50 万円/坪の住宅は良い家と言われていたが、現在はローコスト住宅でも難しく、100 万円/坪が普通の家という。若い人は銀行ローンの審査が難しくなり新築を求める人はますます少なくなると思われる。今後住設機器の入荷状況も考えないと住宅着工しても、完成・引き渡しが出来ずに資金繰りが悪くなることも心配される。

### 【情報】

令和 8 年度木とふれあう環境づくり推進事業が行われます！

鹿児島県みんなの森づくり県民税を活用して「木とふれあう環境づくり推進事業」を実施し、「木造施設等の整備」や「木製品の開発及び普及」に助成を行う

募集期間 令和 8 年 4 月 8 日(水)~6 月 5 日(金)

申込先 県かごしま材振興課・各地域振興局林務水産課

募集内容 ①木造施設等の整備・製品の設置  
(補助率 1/2 500 万円~1000 万円)

②木製品の開発及び普及  
(補助率 1/2 100 万円~500 万円)

木育インストラクター養成講習会が予定されています！

今年度 8 月 22, 23 日行われます。現在 122 名が活動している。

### 【定休日】

5 月は 3, 4, 5, 6, 10, 16, 17, 23, 24, 30, 31 日

6 月は 6, 7, 13, 14, 20, 21, 27, 28 日となります

宜しくお願いします

県産材利用の取組を募集します!  
令和8年度木とふれあう環境づくり推進事業  
みんなの森づくり県民税関係事業

鹿児島県では、森林環境の保全及び森林を全ての県民で育つ育てる取組の推進を図るため、「鹿児島県みんなの森づくり県民税」を活用して、「木とふれあう環境づくり推進事業」を実施します。  
本事業では、県産材の積極的な活用により、多くの人が木とふれあう機会を創出できる「木造施設等の整備」や、県産材の利用拡大が期待できる「木製品の開発及び普及」に関する取組を県民税の助成から広く募集し、助成を行うこととしています。

募集期間 令和8年4月8日(水)~6月5日(金)

募集内容

募集1 木造施設等の整備

○施設の整備  
県産材を積極的に活用し、デザイン性・機能性等に優れた「施設の木造化」や「内装木質化」に関する取組  
【要件】  
県民が木の良さを実感でき、広く利用されるものであること など

○製品の設置  
県産材を積極的に活用し、デザイン性・機能性等に優れた「木製品の設置」に関する取組  
【要件】  
県産材の需要拡大につながる新たな「木製品の開発及び普及」の取組  
【要件】  
製造技術等に新規性・機能性等の特徴があり、かつ需要が見込まれるものであること など

募集2 木製品の開発及び普及

県産材の需要拡大につながる新たな「木製品の開発及び普及」の取組  
【要件】  
「一級材」及び「学生デザイン活用材」  
製造技術等に新規性・機能性等の特徴があり、かつ需要が見込まれるものであること など

申請様式は県ホームページからダウンロードできます。  
※詳しくは、各地域振興課、各支庁林務水産課又は県かごしま材振興課 (TEL: 099-296-3386) へお問い合わせください。県ホームページをご覧ください。

県かごしま材振興課 検索

みんなの森づくり県民税で豊かな森林づくりを進めよう!

県産材利用募集パンフレット

(お問い合わせは、吉崎まで)